

# 意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

案件名	登別中学校の統合に関する方針（案）		
意見の募集期間	令和5年8月2日（水）～令和5年9月1日（金）		
担当グループ	登別市教育委員会 教育部 総務グループ		
意見提出者数	2人		
意見件数	8件		
提出された意見の概要と市の考え方			
<p>【分類欄について】</p> <p>A：意見を案に反映したもの</p> <p>B：意見を既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>C：意見を今後の参考とするもの</p> <p>D：意見を案に反映しなかったもの・その他の意見等</p>			
No.	意見の概要	市の考え方	分類
1	<p>制服はどうするのか？制服の選定については、提出者が各学生服メーカー主導よりも地元会社が主導するべきである。</p> <p>福岡県福岡市で福岡市内中学新標準服という形式を用いています。詳細は検索してください。</p> <p>こういう事例もありますし、詰襟学生服（男子）＋イートン服（幌別中学校型）に移行するのが望ましいのかを検討すべきである。</p> <p>地元事業者（販売店）を公聴会に出席をさせて意見聴取が必要である。廃校になった際の在庫処分もある。在校生の制服はどうするのか（特に女子）。</p>	<p>統合方針を正式に決定した場合には、幌別中学校と登別中学校の関係者により学校統合委員会を設置し、統合後の環境整備に関する基本事項について協議いただくこととしており、統合後の制服の取扱いについても、同委員会で協議いただき、その結果などを基に決定する予定です（販売店等には必要に応じて情報提供を行います）。</p>	C
2	<p>校歌の対応について。登別中学校の校歌を廃止し幌別中学校のものへ統合するのか。この点を検討が必要になる。</p>	<p>統合後の校歌の取扱いについても、両校関係者で組織する学校統合委員会で協議いただき、その結果などを基に決定する予定です。</p>	C
3	<p>さらに登別中学校だけではなく西陵中学校も合併を検討が必要になるのではないかと。</p>	<p>西陵中学校については、令和8年度から令和17年度の間、幌別中学校と統合することを想定しております（「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」参照）が、実際に期間内に統合するかどうかに関しては、生徒数の状況などを勘案することはもちろん、保護者や地域住民の意見を踏まえて別途検討します。</p>	D

4	<p>通学方法として、JR通学、路線バス、スクールバスなのかも柔軟に検討すべきではないか。</p> <p>時間帯や地域によってこれらをフリーパス的に使えた方がいいのではないか。</p> <p>行きはスクールバス、帰りはJR、休日は路線バスのように、フリーパスを交付を検討も必要だろう。</p> <p>ソーダ工場周辺・幌別東小学校付近に富浦駅的な簡易駅を設けての幌別中学校への通学を促すことも考えてはどうか。</p> <p>富浦駅から幌別と富浦の中間駅から通学ができればいいだろう。</p> <p>なぜこのような懸念をするかという点、道南バスが函館～札幌のバスから撤退するからもわかるように道南バスがあてにならないからである。</p> <p>温泉地区からの通学時間が長くなるがこの点も今後の課題ではないか。30分以上はかかるので負担も大きいだろう。</p> <p>遠足や各種研修旅行など集合解散先も今後どうするのかも懸念される。</p>	<p>通学方法については、遠距離通学費補助（公共交通機関を利用し、交通費全額に市が補助）での対応またはスクールバスやスクールタクシーの運行を想定しておりますが、いずれの手法で対応するのかに関して、両校関係者で組織する学校統合委員会で協議いただき、その結果などを基に決定する予定です。</p>	C
5	<p>部活動のあり方も変わるのか。地域部活動に以降もあると思うが、吹奏楽などの扱いは今後の課題であろう。</p>	<p>部活動については、統合後の幌別中学校において、（吹奏楽部を含め）同校の部活動として行われることとなります。ただ、現在、地域部活動に関する取組が進められており、その動向によっては、（統合後の幌別中学校における活動だけではなく）部活動のあり方自体が大きく変わる可能性があります。</p>	D
6	<p>学校跡地はどう活用するのか？取り壊し、研修公民館施設等にするのか、具体的な検討が必要である。</p>	<p>登別中学校閉校後の校舎及び用地の利活用については、来年度以降、市長部局において、地域と意見交換等を行いながら、そのあり方を検討していくこととなります。</p>	C
7	<p>学校備品はどう処分するのか、幌別中学校に完全移行するのか、オークション等で処分し市の収入にするのか？</p> <p>楽器（大太鼓やシンバルなど）は今後の課題だろう。</p>	<p>統合方針を正式に決定した場合には、幌別中学校と登別中学校の教職員により統合準備委員会を設置し、学校運営の詳細に関し協議・調整を行うこととなりますが、学校備品に関しても、同委員会でそのあり方を協議することになり、余剰品の取り扱いなどに関しては、その結果などを踏まえて、教育委員会で検討することとなります。</p>	C

<p>8</p>	<p>私は、登別市における基幹産業は観光産業と捉えており、近隣温泉地の教育環境に関して比較すると、定山溪温泉には小中学校があり、洞爺湖温泉には小学校があり、虻田町には中学校がありますが、登別地区の現状は、カルルス地区の小学校・登別温泉地区の小中学校は既に廃校となっており、このまま登別中学校を幌別中学校に統合されると、登別小学校だけとなり、その登別小学校についても、校区外から児童を受け入れる「小規模特認校」の指定も視野に検討しているとの新聞報道もあり、教育環境に関して、近隣の温泉地より益々、悪くなる状態となり、定山溪温泉、洞爺湖温泉地と比較して、人手不足によるサービスの低下を招き、中間管理職のリクルート、シングルマザー等を雇用するにあっても、大変難しくなり、観光産業の収入も落ち、入湯税収入も落ち、市の税金も落ちると思考する。しかしながら、外国人技能実習制度も緩和され、家族での雇用も増加すると考えると、外国人研修者の姉弟、子供も増えると思うし、統合してしまうと、登別中学校を復活させるとは思えない。</p> <p>登別市として登別中学校存続のために、児童生徒の増加に向けた地域活性化</p> <p>(地域に人を呼び込むこと)に取り組むことを要請するとともに、小中一貫校等の設置を考えてはどうでしょうか。小学校より英語教育を充実させたならば、道内でも、英語を身につけることが出来る大変ユニークな学校になり、大規模校より、少人数校の方がよりキメ細かな教育を小学校から出来ると思う。</p> <p>また、通学方法・通学手段についても新聞等で児童生徒のスクールバスでの弊害が報じられていたが、課外活動、部活でスクールバスの時間帯がなくなった時の迎えの問題が取り上げられ、特に、カルルス温泉は、20kmあまり離れており、また、登別温泉では父母共に、夕方は働いている方が多くおり、迎えにいけない生徒が出てくると推察し、父母に負担がかかることとなるので通学方法・手段についても検討を要する。</p> <p>最後に、登別中学校跡地をどうするかを考えずに統合すると、36号線沿いに広大な廃校跡地が出現することになるので、まちづくりに関しては、登別市の全面的なバックアップが必要である。</p>	<p>市長部局と意見交換を行いながら、雇用への影響にも配慮し、検討を進めてきましたが、子どもたちの教育環境を第一に、登別中学校の現状を考えた結果、統合が必要と判断しました。</p> <p>小中一貫校については、教育委員会としても検討を行いました。学校小規模化の弊害を解消するためには、必ずしも有効な対策とは言えず、統合を第一の選択肢として検討を進めてきました。</p> <p>通学方法・通学手段については、保護者や地域住民の意見も聞きながら、部活動終了後の帰宅、カルルス地区からの通学も含め、想定されるケースにきめ細かく対応することを前提に検討します。</p> <p>登別中学校閉校後の校舎及び用地の利活用については、来年度以降、市長部局において、地域と意見交換等を行いながら、そのあり方を検討していくこととなります。</p>	<p>D</p>
----------	---	---	----------